

KENPOKU ART 2016

茨城県北芸術祭

9月17日～11月20日までの65日間、茨城県北地域6市町（日立市、高萩市、北茨城市、常陸太田市、常陸大宮市、大子町）を舞台に「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」が開催されます。第一線で活躍する国内外のトップ・アーティストによる、約100点の作品が、県北地域の広大な土地に展示されます。私たちの想像を越えた「芸術祭」。世界規模の一大イベントになることが期待されます。

地域を彩る約100点の作品 あなたは県北の新たな魅力を発見します！



日比野克彦【旧富士ヶ丘小】

東京芸術大学教授、現代美術界の重鎮。各地域の参加者と共同制作を行い、社会で芸術が機能する仕組みを創出する。



イリヤ&エミリア・カバコフ【高戸海岸】

旧ソ連出身の世界的アーティスト。嵐によって吹き飛ばされた“空のかけら”が高戸海岸に突き刺さる大型彫刻を制作する。



Nirvana 2013

チームラボ【茨城県天心記念五浦美術館】

最新のテクノロジーを用いたアートを発表する超人気のアーチスト集団。岡倉天心の追求した東洋の美を現代に蘇らせる。



森山 茜【御岩神社】

薄く軽い布や繊維を使った構造体を宙に浮かべるアーティスト。パワースポットとして有名な御岩神社がより神秘的な空間に変身。



テア・マキパー【日立駅前】

人間と環境の関係性を問う創作活動を世界各地で行っている。芸術祭では、大型バスを使った大規模な屋外プロジェクトを行う。



AKI INOMATA【うのしまヴィラ】

うのしまヴィラで、生きたヤドカリに人工的な宿を提供するくやどかりに『やど』をわたしてみる>を行う。



加藤増田斎藤岩沢(KMSI)【常陸多賀駅前商店街】

“山中友子”と呼ばれる鉱山の互助制度を調査、忘れられた歴史を描く。“塙山キャバレー”でフィールドワークを行い、新たな作品を展開。



力石 咲【常陸多賀駅前商店街】

人と街との密接なコミュニケーションの形成に興味を持ち、編み物(ニット)に注目。常陸多賀駅前の商店街にニットに包まれていく。



和田 永【常陸多賀駅前商店街】

古い家電を楽器として再生。家電生産の聖地日立で、市民と共に楽器をつくり、新都市広場で大規模なオーケストラを編成する。



私たちが KENPOKU ART 2016
茨城県北芸術祭を応援しています

特別■講演会

7月20日(水) 19:00～20:15

ゆうゆう十王・Jホール